

歴史総合・世界史探究

問題 1 次の文章を読み、下の問に答えなさい。

19世紀なかば、世界の交通ネットワークが一変し、世界の一体化が進んだ。その出発点にはイギリスで始まった産業革命がある。

イギリスの産業革命は綿織物業の機械化から始まったが、その最終段階において登場したのが鉄道であった。1825年に（ 1 ）によって蒸気機関車が実用化され、さらに1830年に最初の旅客鉄道が開通すると、鉄道は陸上の公共輸送機関として急速に普及した。

一方、海上交通でも、（ 2 ）が発明した蒸気船が改良され、1870年代には帆船にとってかわった。鉄道や蒸気船は膨大な人や物を運搬できるだけでなく、定期的でスピーディーな輸送手段となり得たことも画期的だった。

1869年、^{x)}スエズ運河が開通すると、鉄道網と蒸気船の航路が結び付き、ヨーロッパとアジアが大幅に近づいた。それまで^{y)}喜望峰経由でイギリス・中国間は120日かかったが、スエズ運河を蒸気船で航行すると60日に短縮された。

こうした交通環境の飛躍的発展は「交通革命」と呼ばれているが、この交通革命はエネルギー革命に支えられたものだった。¹⁾ また、交通革命の結果、19世紀なかば以降、移民など大規模な人の移動が多く見られるようになった。²⁾

世界が一体化していくなかで、太平洋に積極的に進出したのがアメリカであった。1840年代、アメリカが西海岸を領有すると、太平洋の先にある³⁾中国や日本と貿易を行なうことへの関心が高まった。さらに、1851年にアメリカで作成された「WHALE CHART」⁴⁾という地図からも、アメリカにとって日本の港が必要だった理由が見えてくる。そして、江戸幕府が締結した条約により、開港場で欧米諸国との自由貿易が始まった。

「交通革命」は開港場を通して日本にも伝わった。鉄道は、日本最大の貿易港であった [A] と新橋をつなぐ路線から開業した。蒸気船も [A] から海外航路が開かれ、三菱が上海への航路を開いた。1885年には [B] 会社が設立された。1893年には神戸と（ 3 ）をつなぐ定期航路が開設され、大量の綿花が輸入された。

19世紀なかばには、人や物だけではなく、情報の伝達にも大きな変化があった。

モース（モールス）らによって発明された [C] が世界各地に普及するなか、長崎・上海間にも海底ケーブルが開通した。[C] 網を通じて世界中の情報が瞬時に伝達されるようになった。

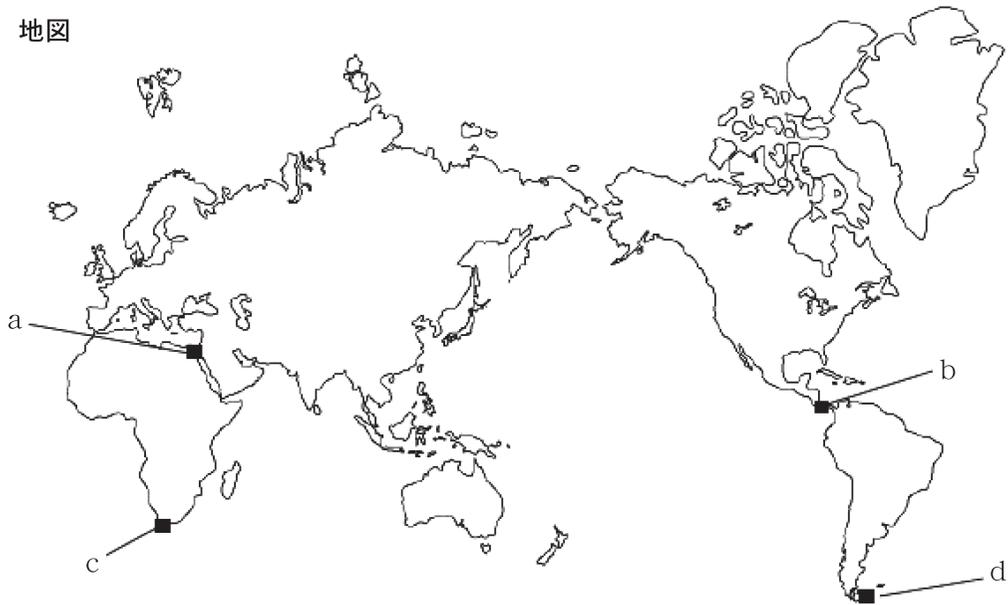
問1 空欄（ 1 ）、（ 2 ）にあてはまる人物名を、ア）～エ）の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア) ジョン=ケイ イ) フルトン ウ) スティーヴンソン エ) ワット

問2 空欄 [A] ～ [C] にあてはまる語句を答えなさい。

問3 下線部 X・Y について、下線部 X・Y それぞれの場所は下の地図中 a ～ d のどの場所にあたるか。組み合わせとして正しいものを、ア）～エ）の中から一つ選び、記号で答えなさい。

地図



ア) X—a Y—c

イ) X—a Y—d

ウ) X—b Y—c

エ) X—b Y—d

問4 下線部1)について、「この交通革命はエネルギー革命に支えられたものだった」とはどういうことか。50字程度で説明しなさい。

問5 下線部2)について、19世紀なかば頃からの移民に関して述べた文章として、**誤っているもの**を、ア)～ウ)の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア) フィリピン、ベトナム、タイなどに多くの日本人が移民し、現地に日本町を形成した。

イ) 華僑や印僑が増加し、彼らの中には移住先で経済的成功を収める人々も現れた。

ウ) アメリカ合衆国の西部への領土拡大や人口増加にともなう州の成立を可能としたのは大量の移民であった。

問6 下線部3)について、19世紀の中国に関して述べた文章として、**誤っているもの**を、ア)～ウ)の中から一つ選び、記号で答えなさい。

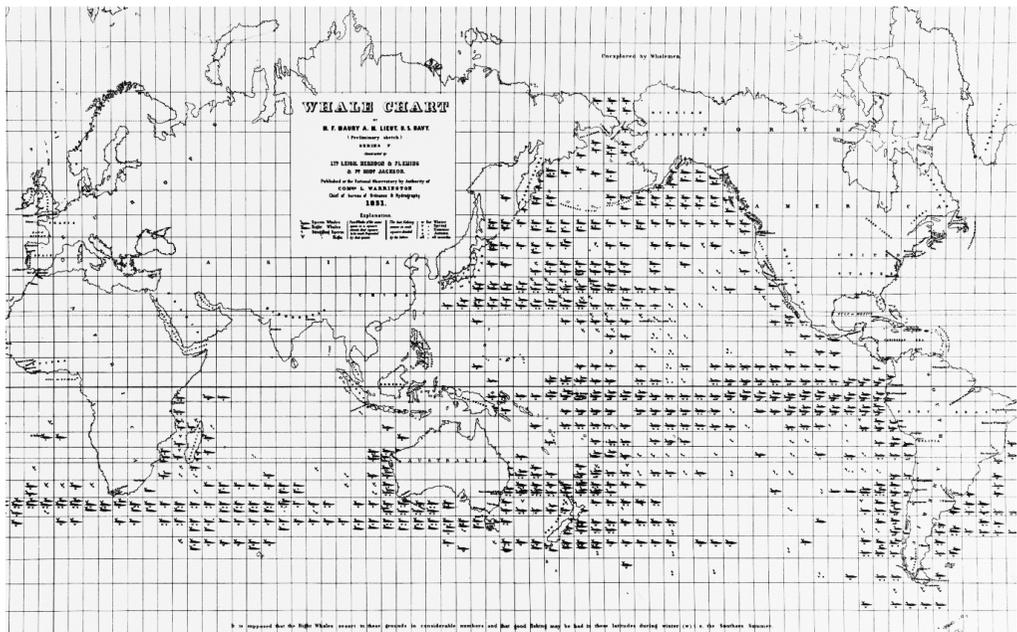
ア) アヘン戦争の結果、香港島がイギリスに割譲された。

イ) 対等な内容をもつ日清修好条規が締結された。

ウ) 洋務運動と呼ばれる外国人排斥運動が拡大した。

問7 下線部4) について、下の図は、1851年にアメリカで作成された「WHALE CHART」である。この図とアメリカの対日政策やその背景について述べた文章として、誤っているものを、ア)～ウ)の中から一つ選び、記号で答えなさい。

図 WHALE CHART, 1851 (図中の  はクジラを示している)



- ア) この図から、太平洋が捕鯨漁の中心地だったことが読み取れる。
- イ) この図が作成された頃、アメリカでは鯨は主に食料として人気があり、その捕獲量をめぐって日本と交渉する必要があった。
- ウ) この図が作成された後、ペリーは日本に捕鯨船員の保護を求めた。

問8 空欄 (3) にあてはまる地名を、ア)～エ)の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア) ウラジヴォストーク イ) ソウル ウ) ボンベイ エ) マニラ

問題2 次の文章を読み、下の問に答えなさい。

ローマはその歴史のなかで、王政、共和政、帝政と、政治体制を変えていった。

前8世紀、ティベル河畔にラテン人によってたてられた都市国家ローマは、成立当初、王政をとっていた。一時はイタリア中部を拠点とする [A] 人の王がローマを支配したが、前6世紀末に王が追放され、共和政に移行した。この際、パトリキがコンスルなどの公職を独占し、貴族の会議である元老院が政治の実権を握っていた。これに対して平民が不満を抱き、平民と貴族のあいだで身分闘争がおきた。¹⁾身分闘争は前3世紀末に終結したが、パトリキ貴族に一部の富裕な平民が加わったノビレスが成立する結果に終わり、貴族中心の政治体制は変わらなかった。

ローマは前3世紀後半までにイタリア半島の全域を征服し、地中海世界に進出しはじめた。西地中海では北アフリカのカルタゴ、²⁾東地中海ではアンティゴノス朝マケドニアや [B] 朝シリアとの戦いに勝利し、前2世紀半ばには地中海世界をほぼ制覇した。これによりローマの勢力は拡大したが、貧富の差がひろがり、中小農民が没落した。³⁾この問題を解決するため、[C] 兄弟は前2世紀後半、土地分配によって自作農を増やそうと試みたが、元老院の反対にあい、失敗に終わった。以後、ローマは内乱の一世紀とよばれる混乱した時代を迎え、元老院を牙城とする [D] 派と、平民会を拠点とする平民派が対立した。

前1世紀中頃、カエサル、⁴⁾[E]、クラッススが密約を結んで [D] 派をおさえ、政権を握った。しかし、クラッススがイラン系遊牧民の国家である [F] との戦いで敗死したあと、カエサルと [E] は対立にいたった。[E] に勝利したカエサルは独裁官となったが、王政の復活をめざしていると疑われ、共和派のブルトゥスらによって暗殺された。その後、カエサルの部下アントニウスと [G]、そしてカエサルの養子オクタウィアヌスが政治同盟を結んで政治の実権を握ったが、オクタウィアヌスは、プトレマイオス朝エジプトの女王 [H] と結んだアントニウスに [I] の海戦で勝利し、前27年に元老院からアウグストゥスの称号を得て、帝政を創始した。

⁶⁾アウグストゥスがはじめた元首政において、皇帝は形式的には第一の市民とし

て、元老院など共和政の諸制度を尊重したが、多くの要職を兼任し、事実上は皇帝の独裁体制であった。一方、元老院議員は属州総督や軍隊の司令官に任じられ、約200年間にわたる「ローマの平和」を支えた。しかし、2世紀末には、元老院議員にかわって、経験をつんだ軍人が軍隊の要職を占めはじめ、3世紀には各地の軍隊が独自に皇帝を擁立する軍人皇帝時代がはじまった。軍人皇帝の多くは短命であるうえ、7) ササン朝ペルシアやゲルマン人の侵攻への対応に忙殺されたため、政治は安定しなかった。

3世紀末、[J] 帝はこの混乱をおさめ、専制君主政を創始した。皇帝は専制君主として臣民に君臨し、皇帝を神として崇拝させた。[J] 帝の路線を継承した8) コンスタンティヌス帝は、巨大な官僚制度を整備し、独裁体制を確立したが、官僚や軍隊を維持するために重税を課したことで反乱が頻発した。ローマ帝国は4世紀末に東西に分裂し、5世紀後半に西ローマ帝国は滅亡した。

問1 空欄 [A] ~ [J] にあてはまる語句を答えなさい。

問2 下線部1) について、ローマの身分闘争に関する文章として誤っているものを、ア) ~ エ) の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア) 平民会と護民官の制度が設けられた。

イ) ローマ最古の成文法であるドラコンの法が制定された。

ウ) リキニウス・セクスティウス法によってコンスル職が平民にも開放された。

エ) ホルテンシウス法によって平民会の決議が元老院の許可なしに国法となった。

問3 下線部2) について、

① カルタゴを創建した民族を答えなさい。

② 第1次ポエニ戦争の勝利によって獲得した、ローマ最初の属州を答えなさい。

問4 下線部3)について、ローマで発展した大土地所有制をラテン語で何というか答えなさい。

問5 下線部4)について、カエサルがエジプトの暦をもとに採用した太陽暦を何というか答えなさい。

問6 下線部5)について、この王朝でとられた文化政策を、都の名に必ず言及しながら簡潔に説明しなさい。

問7 下線部6)について、a)～d)の出来事を、古い順に並べ替えたものを、ア)～エ)の中から一つ選び、記号で答えなさい。

a) ハドリアヌス帝がブリタニアに長城を建設した。

b) カラカラ帝が帝国内の全自由民にローマ市民権を付与した。

c) マルクス=アウレリウス=アントニヌス帝が『自省録』を著した。

d) ネロ帝がキリスト教徒を迫害した。

ア) a→c→b→d イ) a→d→b→c

ウ) d→a→c→b エ) d→c→b→a

問8 下線部7)について、

① 軍人皇帝ウァレリアヌスを捕虜としたササン朝ペルシアの王を答えなさい。

② ササン朝ペルシアで国教とされた宗教を答えなさい。

問9 下線部8)について、コンスタンティヌス帝に関する文章として正しいものを、ア)～エ)の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア) ロンディニウムに新都コンスタンティノーブルを建設した。

イ) 帝国を東西にわけ、それぞれ正帝と副帝が統治する体制を確立した。

ウ) ミラノ勅令を發布してキリスト教を国教化した。

エ) 主催したニケーア公会議で、アタナシウス派の見解が正統教義となった。

問題 3 次の文章を読み、下の間に答えなさい。

15世紀の後半から、ヨーロッパは、政治・経済・社会・宗教・文化などさまざまな面で急速な変化の時代を迎えた。大航海時代とは、15世紀半ばから17世紀半ばまでの、[A] と [B] を先駆けとしてヨーロッパ諸国がアフリカ・アジア・アメリカ大陸へと大規模な航海事業を展開した時代である。

この時代は、羅針盤や新型の帆船が実用化され、天文学や地理学の知識も増えていた。交易品は、特にアジア産の [C] が重宝されたが、1453年にビザンツ帝国を滅亡させた [D] 帝国などを經由して輸入されていたものである。[C] を直接手に入れる交易路の開拓は重要であった。また、イベリア半島ではイスラーム教徒に対する中世以来の [E] の結果、大西洋への出口がキリスト教諸国によって確保され、領土の一層の拡大とキリスト教布教への熱意も高まっていた。

[A] は [B] より先に、「航海王子」エンリケやジョアン2世のもとで、アフリカ西岸への探検を開始していた。1488年、[F] はアフリカ南端に到達し、さらに1498年には、[G] がアフリカ南端を經由してインドのカリカット¹⁾に上陸した。[A] はアジア物産の独占的取引で利益を得るためにゴアやマラッカ、マカオといった拠点も確保していった。この間の1492年に、[B] はアメリカ大陸に進出しており、[B] と [A] との間の新たな発見地の所属に関しては、1494年両国の間で [H] 条約が結ばれ、調整がはかられた。これにもとづき、1500年にインドに向かう途中で [I] が漂着した今日のブラジルは [A] 領となった。

上述のように、1492年、[E] の終了とほぼ同時に、[B] はアメリカ大陸に進出した。ジェノヴァ商人 [J] は地球が球体であると考えた。つまり、西へと航海してもインドに到達すると考えた。彼は [B] の女王イサベルの支援を受けてカリブ海のサンサルバトル島に上陸した。続いてアメリカ大陸にも上陸した。そこをインドと信じて住民をインディオ（インディアン）と呼んだ。アメリゴ=ヴェスプッチは、そこがアジアではなく、未知の新世界であると主張した。彼

の名がアメリカの起源となった。さらに、1519年、[B] は西回りでアジア到達を目指す航海をマゼラン（マガリャンイス）に命じ、その結果、世界周航が達成された。また、その過程で到達した [K] が [B] のアジアにおける植民地となった。

さて、中南米に上陸した [B] 人の「征服者」（コンキスタドール）たちは先住民の財宝の略奪に熱中した。征服者たちは、王室の許可を受けてキリスト教布教の義務と引き換えに先住民を使役し、貢納・賦役を課した。²⁾しかし、過酷な支配やヨーロッパから持ち込まれた [L] により先住民が激減すると、農場などの労働力としてアフリカから黒人が奴隷として運び込まれた。また、[B] は豊かな銀鉱山を発見し、開発した。

大量の銀の流入と人口増加により16世紀の西ヨーロッパでは穀物などの価格が上昇した。³⁾また、大西洋貿易が始まると、ヨーロッパ経済の中心は地中海沿岸のイタリア諸都市からバルト海沿岸や大西洋沿岸へと移動した。⁴⁾[A] の首都リスボンやフランドル地方のアントウェルペンなどが栄えるようになった。一方、アジアに目を向けると、[B] は [K] のマニラを拠点に、[M] を用いて太平洋横断の交易ルートを開いた。メキシコの銀と明の商品が交易された。

ヨーロッパ人が競うように世界中の海洋に進出し、交易を通じてつながり、世界の一体化が始まったのである。

問1 空欄 [A] ～ [M] にあてはまる語句を、ア)～ノ)の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|--------------|-------------------|----------------|----------|
| ア) イギリス | イ) フランス | ウ) スペイン | エ) ポルトガル |
| オ) フランク | カ) 神聖ローマ | キ) オスマン | ク) フィリピン |
| ケ) 台湾 | コ) 平戸 | サ) バルトロメウ=ディアス | |
| シ) カブラル | ス) コロンブス | セ) ヴァスコ=ダ=ガマ | |
| ソ) トルデシリャス | | タ) ウェストファリア | |
| チ) カトー=カンブレジ | | ツ) タバコ | テ) 香辛料 |
| ト) 疫病 | ナ) 塩 | ニ) ガレオン船 | ヌ) ダウ船 |
| ネ) 東方植民 | ノ) レコンキスタ（国土回復運動） | | |

問2 下線部1) について、当時のカリカットの状況に関する文章として**正しいもの**を、ア)～エ)の中から一つを選び、記号で答えなさい。

ア) インド内陸部の王朝の統制を受けない港市国家として存在していた。

イ) デリー=スルタン朝が終焉しムガル帝国が支配をしていた。

ウ) ヒンドゥー教徒のシヴァージーが建てたマラーター王国が支配していた。

エ) この地で仏教が部派に分かれ、またジャイナ教が誕生した。

問3 下線部2) について、

① この制度を何というか。**カタカナ**で答えなさい。

② 『インディアスの破壊についての簡潔な報告』を著し、インディオを擁護する立場からこの制度に反対した修道士は誰か。この人物の名前を答えなさい。

問4 下線部3) について、

① このことを何というか。**漢字4文字**で答えなさい。

② ①に関して、ア)～エ)の文章の中から**正しいもの**の一つを選び、記号で答えなさい。

ア) 銀の流入は固定地代などの収入を**経済基盤**とする旧来の支配層に打撃を与えた。

イ) 銀の流入と人口増加は**経済活動**に活気を与え産業革命が始まった。

ウ) 銀の流入は**貨幣経済**を浸透させ都市や商業を急速に発展させた。

エ) 銀の流入により西ヨーロッパの**商工業**は壊滅した。

問5 下線部4)について,

- ① このことを何というか。漢字4文字で答えなさい。
- ② ①に関して、ア)～エ)の文章の中から誤っているものを一つ選び、記号で答えなさい。
 - ア) ヨーロッパの多くの国々で商品の種類・取引額が拡大した。
 - イ) アジアとの貿易はアフリカ南端をまわるインド洋交易を通じて行われるようになった。
 - ウ) アントウェルペンがオランダの首都となった後もヨーロッパの国際金融の中心として栄えた。
 - エ) 広大な海外市場が開かれ資本主義経済の発展が促された。

問題 4 次の文章を読み、下の問に答えなさい。

中央ユーラシア東部の草原地帯ではトルコ系やモンゴル系の諸部族が割拠していたが、12世紀末にモンゴル系の部族から有力な指導者 [A] が現れ、統一の機運が生じた。1206年、彼はオノン川の上流で開催された [B] でチンギス=カンの称号を受けると、強力な騎馬軍団を率いて中央ユーラシアの諸民族の大部分を支配下におさめ¹⁾、大モンゴル国（モンゴル帝国）の基礎を築いた。

その後も彼の子孫たちは帝国の支配領域を広げていった。すなわち、第2代君主の [C] =カアンは父のチンギス=カンの征服事業を受け継ぎ、1234年、中国東北地方や華北を支配する金を滅ぼし²⁾、翌年には都をモンゴル高原中央部の [D] にさだめた。さらに、[C] =カアンの命によりヨーロッパ遠征に出発した [E] 率いるモンゴル軍はロシアの主要な都市を攻略したのち、1241年、ドイツ騎士団とポーランド諸侯の連合軍を [F] の戦いで打ち破るとともに、ハンガリーにも侵攻してヨーロッパの人々を威圧した。しかし、[E] はモンゴル軍内部の不和を理由にモンゴル高原に帰還せず、ヴォルガ川流域を中心としてジョチ=ウルス（キプチャク=ハン国）³⁾を創建した。その後、中央アジアには [C] の兄チャガタイとその子孫が支配するチャガタイ=ウルス（チャガタイ=ハン国）が成立した。

さらに、第4代君主モンケ=カアンの命を受けて西アジアに遠征した⁴⁾ [G] 率いるモンゴル軍は、まずイラン北部の山岳地帯に拠る、ニザール派とよばれる過激なシーア派を掃討し、1258年にはついにバグダードを占領してスンナ派の [H] 朝を滅ぼすことに成功した。これらの成果を受け、[G] は西アジアに [G] =ウルス（イル=ハン国）を創建した。しかしながら、エジプトやシリアなどを支配する [I] 朝軍との決戦では敗北を喫し、成立まもない [I] 朝に支配の正当性をあたえることになった。

東アジアではモンケの死後、彼の2人の弟、クビライとアリク=ブカ（アリク=ブケ）がカアン位をめぐる対立したが、クビライが勝利して第5代君主となった。クビライ=カアンはモンゴル高原と華北の境界に現在の北京にあたる [J] を築

いて中国全土を支配した。

こうして13世紀後半には中央ユーラシアとその東西各地にモンゴル政権が並び立ち、大モンゴル国はアジアからヨーロッパに至る史上空前の大帝国に変容した。

問1 空欄 [A] ~ [J] にあてはまる語句を、ア) ~ ナ) の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|------------|----------------------|----------|----------|
| ア) 冒頓単于 | イ) バトゥ | ウ) フラグ | エ) オゴタイ |
| オ) テムジン | カ) セルジューク | キ) ウマイヤ | ク) アッパース |
| ケ) サファヴィー | コ) マムルーク | サ) 長安 | シ) カラコルム |
| ス) 大都 | セ) 洛陽 | ソ) 清談 | タ) クリルタイ |
| チ) 民会 | ツ) ニコポリス | テ) タラス河畔 | |
| ト) ニハーヴァンド | ナ) ワールシュタット (リーグニッツ) | | |

問2 下線部1) について、1220年、チンギス=カンは中央アジアのある国を征服している。その国の名称としてもっとも適切なものを、ア) ~ エ) の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア) サーマーン朝 イ) 西夏 ウ) 大理 エ) ホラズム=シャー朝

問3 下線部2) について、この国を創建した人物が属した民族の名称として適切なものを、ア) ~ エ) の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア) 契丹 (キタン・キタイ) イ) 女真 (ジュシェン・ジュールチン)
ウ) 党項 (タングート) エ) 突厥 (テュルク)

問4 下線部3) について、このモンゴル政権は200年以上にわたってロシアを支配したが、モンゴルによるロシア支配はロシアの人々によって何と呼ばれたか、答えなさい。

問5 下線部4) について、この君主の時代にフランス王の使節として大モンゴル国の都を訪問し、この君主に謁見した人物を、ア)～エ)の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア) プラノ=カルピニ イ) マルコ=ポーロ
ウ) モンテ=コルヴィノ エ) ルブルック

問6 下線部5) について、財務官僚などとして力をふるうことでクビライの統治をささえた中央アジアや西アジア出身の人々を何と呼ぶか、答えなさい。